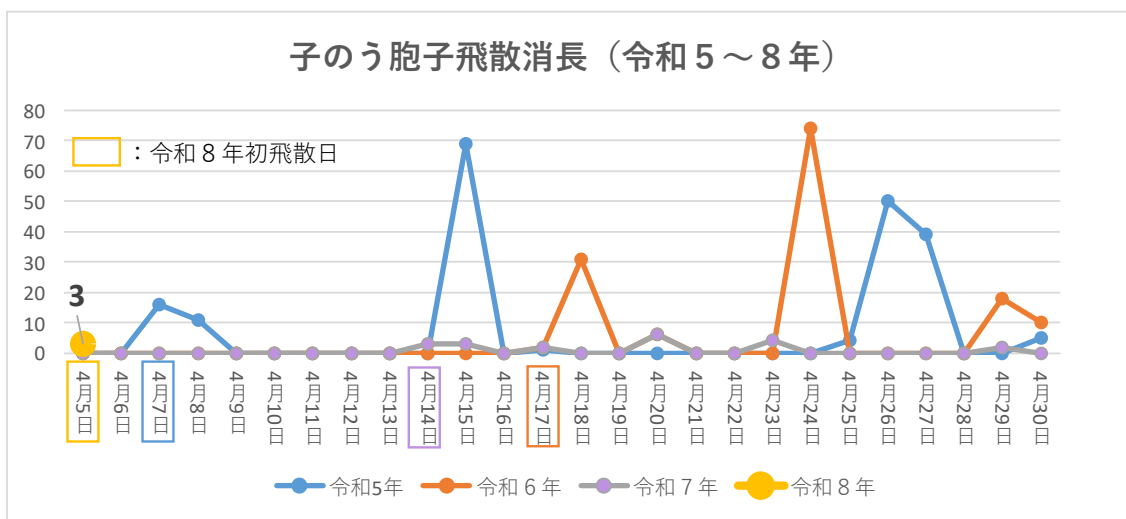


リンゴ黒星病の子のう胞子の飛散状況

令和8年4月9日
秋田県果樹試験場

◆調査結果

1) 横手市平鹿町（秋田県果樹試験場）



果樹試験場（横手市）で4月5日に子のう胞子の初飛散を確認しました

（胞子飛散トラップ設置日：4月3日）

黒星病の感染期に入りました。今後、降雨と共に胞子飛散量が増え、感染の危険性が高まります。

芽出し後10日頃に保護殺菌剤（ストライド顆粒水和剤、デランフロアブル、パスポート顆粒水和剤など）を散布しましょう。

また開花直前の防除に当たっては、雨前散布を心がけ、園地の状況に合わせて以下の①または②の薬剤を選択します。

①前年に黒星病の発生があった園地

保護殺菌剤（チオノックフロアブル、デランフロアブル、ジマンダイセン水和剤など）にSDHI剤のカナメフロアブルを加用して散布しましょう。

②前年に黒星病の発生がなかった園地

保護殺菌剤にDMI剤のオンリーワンフロアブルを加用して散布しましょう。

※県北部（鹿角市）で黒星病子のう胞子の飛散は確認されていません。